

ヘルスケアサービス実証事業 事業計画書

(記載例)

1 プロジェクトの名称	
【40文字以内で、プロジェクトの名称を記載してください】 〇〇〇〇に資する〇〇〇〇向け〇〇〇〇（サービスの名称）実証プロジェクト	
2 事業区分	
【次のうち、最も合致するものを1つ選択してください】	
<input type="checkbox"/> 抗加齢（アンチエイジング）や健康増進に関心のある層をターゲットとしたツアーや、滞在型の体験プログラム <input type="checkbox"/> 現役世代（主に20歳から60歳まで）に対する生活習慣病等の予防サービス <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者に対する運動、生活支援、見守り等の公的保険外サービス	
3 大学や他の会員等との連携の有無	
<input checked="" type="checkbox"/> 大学、短期大学、高等専門学校、公設試験研究機関、独立行政法人又は国立研究開発法人のいずれかと連携する <input type="checkbox"/> 他の会員と連携する <input type="checkbox"/> 特に、上記との連携はしない	
【大学、短期大学、高等専門学校、公設試験研究機関、独立行政法人、国立研究開発法人又は他の会員（以下「大学等連携先」という。）と連携する場合は、その名称及び担当者を記載してください】	
	大学等連携先の名称
	〇〇〇〇大学
担当者	所属学部又は所属部署
	〇〇〇〇学部
	役職
	准教授
	氏名
	〇〇 〇〇氏
4 プロジェクトの概要	
【200文字程度（5行程度）で、実施する事業化可能性調査や効果検証（以下「調査事業」という。）の目的及び内容を記載してください】	
5 事業化を検討しているヘルスケアサービス（以下「当該ビジネス」という。）	
(1) 想定顧客	
【想定している顧客を記載してください】	
〇〇〇〇に、〇〇〇〇レベルの〇〇〇〇が利用する〇〇人規模の〇〇〇〇施設を複数運営して	

いる法人で、〇〇〇〇の満足度やQOL向上を図るために、〇〇〇〇を対象に、定期的に、〇〇〇〇を提供したいと考えている法人

(2) 顧客ニーズ

【顧客が抱えている課題や困りごと（ニーズやペイン（痛み））を記載してください】

- ・〇〇〇〇の満足度やQOL向上を図るために、〇〇〇〇を対象に、〇〇〇〇を提供したいが、人手不足、ノウハウ、資格がないため、満足度の高いサービスを持続的に提供することができない
- ・〇〇〇〇に関する情報が少なく、〇〇〇〇を提供するには、〇〇〇〇や〇〇〇〇の面で懸念がある。

(3) 既存の代替策（代替して使っているサービス）

【顧客が抱えている課題や困りごとに対し、現在、どのような代替策があるのか、また、その欠点は何なのかを記載してください】

①現在の代替策

- ・〇〇〇〇の負担により、〇〇〇〇から実費のみを徴収し、〇〇〇〇の頻度で実施している。
- ・既存のサービスとして〇〇〇〇がある。

②上記①の欠点

- ・〇〇〇〇の負担では、人手不足のため、〇〇〇〇の頻度でしか実施できず、定期的な開催を希望する〇〇〇〇からの要望に答えられていない。
- ・既存のサービスは、コストが高く、〇〇〇〇が十分にできないため、〇〇〇〇や〇〇〇〇の面が心配。

(4) 提供価値／サービス

【顧客へ提供する便益（ベネフィット）と、サービスの内容を記載してください】

①ベネフィット

- ・〇〇〇〇から〇〇〇〇までを一貫して、〇〇〇〇が引き受けて実施するので、〇〇〇〇の負担や〇〇〇〇の心配がない。
- ・〇〇〇〇から〇〇〇〇までを〇〇〇〇化することで、安価に提供できる。
- ・〇〇〇〇を多品種準備することで、〇〇〇〇に応じた〇〇〇〇を提供できる。
- ・〇〇〇〇終了後は、〇〇〇〇を行うことで、〇〇〇〇の満足度やQOL向上が図られる。

②製品やサービスの内容

- ・〇〇〇〇の〇〇〇〇に対し、〇〇〇〇サービスを提供する。

(5) 収益モデル

【どのような売上・コストが発生することを想定しているかを記載してください】

①売上

- ・〇〇〇〇からの〇〇〇〇サービスの代金
- ・〇〇〇〇からの〇〇〇〇料金

②コスト

- ・〇〇〇〇サービスに関する〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇の人件費
- ・〇〇〇〇サービス時の〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇料金
- ・ホームページの運用費
- ・〇〇〇〇への紹介料

(6) 関連する市場・社会の動き

【当該ビジネスに関連する市場の成長見通しや、社会の動き・トレンドがどうなっているかを記載してください】

- ・〇〇〇〇の〇〇〇〇の人口は、〇〇〇〇時点で〇〇〇〇になるなど、今後、〇〇年間は増加し続ける（出典：〇〇〇〇省「〇〇〇〇統計」）

グラフなど

- ・〇〇〇〇によると、〇〇〇〇のマーケットは、〇〇〇〇時点で〇〇%の成長が見込まれており、市場規模は〇〇〇〇円から〇〇〇〇円へ成長すると予測されている（出典：〇〇〇〇省〇〇〇〇ワーキンググループ「〇〇〇〇年第〇回〇〇〇〇」配布資料）

グラフなど

- ・〇〇〇〇の政策として、〇〇〇〇に代表されるように、〇〇〇〇が推進されており、〇〇〇〇に対するアンケートからも見られるように、〇〇〇〇に対する〇〇〇〇は、〇〇〇〇と比べ、〇〇〇〇となっている（出典：〇〇〇〇省「〇〇〇〇統計」）

グラフなど

6 調査事業を行う目的

【次のうち、合致するものを全て選択してください】

- 技術面での実現可能性を調査・検証するため
- 市場面での実現可能性（顧客ニーズなど）を調査・検証するため
- 経済的な実現可能性（採算性など）を調査・検証するため
- 業務面での実現可能性を調査・検証するため
- サービスの効果を調査・検証するため
- その他（ ）

7 調査事業の実施内容

【調査事業の実施内容を記載してください】

項目		内容
いつ	調査時期	令和2年〇〇月～令和3年〇〇月
どこで	調査場所・範囲	鹿児島県内（市内・市外）
何を	調査内容	①モニター属性：〇〇〇〇施設を利用している〇〇〇〇 ②モニター人数：〇〇人×〇回（延べ〇〇人） ③調査項目 ・ 想定顧客のニーズ・ペイン ・ 〇〇〇〇を実施するうえでのオペレーション ・ 〇〇〇〇の課金可能性（購入可能価格） ・ 〇〇〇〇の満足度（継続利用の有無等） ・ 〇〇〇〇に対する〇〇〇〇の検証
どうやって	調査方法	①想定顧客に対するインタビュー ②モニターサービスの実施（〇回） ・ 〇〇〇〇に対するモニター集客の協力依頼 ・ 〇〇〇〇の作成・周知 ・ 〇〇〇〇実施前後のアンケート ③〇〇〇〇に関する〇〇〇〇への委託研究

8 調査事業の成果等

(1) 調査事業の成果

【調査事業によって、どのような成果を得ることを目標としているかを記載してください】

- ・ 想定顧客に対するインタビュー（〇施設で、計〇〇人）
- ・ モニターサービスに関する事前事後アンケート（〇回で、計〇〇人）
- ・ 〇〇〇〇に対する〇〇〇〇の検証（計〇〇人）

(2) 事業化の判断基準

【事業化するどうかを判断するための基準を記載してください】

〇〇〇〇が〇〇〇〇以上である見込みが取れること

9 事業化の目標時期

【事業化する時期の目標を記載してください】

〇〇〇〇年〇〇月頃

10 業績

(1) 自社全体の業績

【直近3か年の業績について、決算資料を基に記載してください】

(単位：千円)

		2017年	2018年	2019年
売上高		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	売上原価	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
売上総利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	販売費等 (人件費含む)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
営業利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	営業外収益	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
	営業外費用	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
経常利益		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

(2) 当該ビジネスの売上目標

【補助事業終了後における、当該ビジネスの売上目標を記載してください】

(単位：千円)

		2021年 (終了1年後)	2022年 (終了2年後)	2021年 (終了3年後)
売上高		〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

11 実施計画

(1) 取組スケジュールや取組内容

実施時期	取組内容
2020.7～10	○○○○○○○○○○○○○○
2020.8～12	○○○○○○○○○○○○○○
2020.10～2021.3	○○○○○○○○○○○○○○
2020.10～2021.3	○○○○○○○○○○○○○○
2020.12～2021.3	○○○○○○○○○○○○○○
2021.1～3	○○○○○○○○○○○○○○
2021.2～3	○○○○○○○○○○○○○○

(2) 自社の取組体制

【自社の取組体制を記載してください】

従事者の職名	人数	業務内容
○○○○課長	1	○○○○○○○○
○○○○課 主任	2	○○○○○○○○

(3) 外部協力者の取組体制

【上記「3 大学や他の会員等との連携の有無」で記載した連携先など、外部の協力者を記載してください】

外部協力者の名称	業務内容
○○○○大学	○○○○に関する共同研究
○○○○	モニターサービスの利用者集客

1 2 関連するノウハウや技術等

【当該ビジネスに関連するノウハウや技術、産業財産権、事業実績などのほか、本市ヘルスケア産業への波及効果や、地域住民の健康寿命延伸に対する貢献など、アピールしたいことがありましたら、記載してください】

- ・当社はこれまで○○○○に関するビジネスを実施してきており、○○○○との豊富なネットワークがある。
- ・今回、前職（株式会社○○○○）時代に○○○○の経験（○○年）がある社員を加え、○○○○のサービスが提供できる体制が確保できた。
- ・○○○○に対する○○○○サービスは、○○○○においても、その効果が評価されており、○○○○の○○○○を向上させるほか、○○○○の付加価値向上にも資するものと考えられ

る。

- ・現時点では、想定顧客に対するニーズ・ペインの確認が不十分なことから、想定顧客に対するインタビューや、モニターサービスを実施したあとの事前事後アンケート等の評価を実施することで、マネタイズできるビジネスモデル構築のための可能性を探索してみたい。

1 3 収支予算書（単位：千円）

【支出額と収入額が同一となるように記載してください】

支出区分（注）		金額	収入区分		金額	調達先	
支出	旅費		収入	補助金	当該申請分	400	
	会議費			金	その他		
	謝金			借入金	金融機関		
	備品費			金	その他		
	借料			自己資金		800	
	消耗品・原材料費			その他			
	外注費						
	委託費	400					
	共同研究費						
	印刷製本費	100					
	技術導入費						
	運送費						
	広告宣伝費						
	直接人件費	700					
合計①	1,200	合計		1,200			
①のうち大学等連携先に支払う経費		400					

（注）鹿児島市新産業創出支援事業補助金交付要領別表第2を参照してください。